



令和4年度 第6号 令和4年10月11日

鶴川 星

阿久根市立鶴川内中学校

校訓

スクールコンセプト

ともに夢と希望を育む鶴川内中

協 自 自
調 律 主

一 校 一 風

育てよう花と心と大きな夢を

校長室の窓から

『長き夜を 唯蠟燭の 流れけり』
ながきよを ただろうそくの ながれけり 夏目漱石

校長 井久保 康彦

第76回を数える今年度の体育大会は9月11日(日)、保護者の皆様をはじめ、55歳組の皆様や地域の皆様を2年ぶりにお迎えして盛大に開催することができました。

今年は「思高～Think Move Grow～」のスローガンのもと生徒の力強い走りに加え、学年種目や応援演舞を通して、気力、体力を競い合う中に集団としてのまとまりや美しさを表現してくれました。

また、体育大会を自分たちで創り上げるためにそれぞれの応援団を中心に一人一人が知恵を出し合いながら、夏休みも返上で練習に取り組みました。2学期に入ってから、短い準備期間しかありませんでしたが、早朝や放課後の練習に寸刻を惜しんで取り組む姿が印象的でした。少ない人数でもそれを感じさせない生徒たちの心意気と一人一人の活躍に心から拍手を贈りたいと思います。取組の過程では、いろいろな意見のぶつかり合いや気持ちの行き違いなどのドラマも多々あったことと思いますが、それを一つずつ乗り越えながら、仲間と心をあわせてやりとげることができたことが、これからの学級や学校での生活に活かされていくことと思います。保護者、地域の皆様におかれましては、今後とも学校の教育活動への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、日没が早くなり、夜の時間が長くなります。「秋の夜長」と昔から言われますが、夏目漱石も夜の時間をもてあましたのでしょうか？ろうそくの明かりの時代と違い、電灯の下であれば不自由なことは何もありません。時間をもてあますことなく、秋の夜長に心に残る一冊を読みたいものです。以前、読書の仕方について南日本新聞にこんな記事が書いてありました。ほとんどの人が黙読で本は読むと思いますが、音読して読んでみると不思議と後々まで印象に残ります。英語や古文の暗唱なども繰り返し、繰り返し音読することによって覚えられます。目的に応じて、黙読と音読を使い分けましょう。

本は声を出して読みなさい。本を読むときには「音読」と「黙読」がある。「黙読」はバスでの遠足。バスは移動に楽で早い景色は目の前を飛んでいって、記憶に残らない。「音読」は徒歩遠足と同じ。一步一步踏みしめて行くので周りの風景はもちろん、空気のおいまで感じ取り、後になってその時の様子が具体的によみがえる。読書の効用と同じだ。声を出す読書は脳の働きを活性化させ、記憶の定着力も強くなることが言われている。1冊声を出し読破すると役者気分になり、良い気持ちになって本の世界に入りやすい。筆者の体に寄り添っていく感じがする。黙読は途中で気が散ることがある。

主な行事予定

月	日	曜	10月～11月前半の主な行事
10	12	水	ノーマディアの取組(～18)
	15	土	部活動停止(～18)
	17	月	教育相談(～19)
	18	火	中間テスト(～19)
	28	金	PTA役員会
11	30	日	文化祭
	2	水	防災訓練, 学校運営協議会
	7	月	3年実力テスト(～8)
	9	水	生徒会引継式
	11	金	SC来校(午前)
	18	金	県指定「キャリア教育」推進協力校研究公開
19	土	県PTA活動委囀研究公開(発表)	
25	金	3年PTA・進路説明会, 部活動停止(～1)	

地区駅伝大会

9月29日(木)に高尾野河川敷でありました。

男子 11/17位 1' 24' 54"
女子 11/15位 0' 59' 28" (鶴荘, 大川内と合同)
池田 1区 14'33" (4km) 坂松 1区 15'06" (3.3km)
的場 2区 12'25" (3.3km) 宮前 2区 08'28" (2km)
前田 3区 12'37" (3.3km) 奥園 3区 09'40" (2km)
又間 4区 12'44" (3.3km)
山下 5区 14'15" (3.3km) 青木 6区 18'20" (4km)



第76回体育大会

9月11日(日)に、晴天の中、入場を一部制限して半日開催で行いました。



素晴らしい秋晴れのもと、「思高～Think・Move・Grow～」をスローガンに行いました。生徒が主体となって、鶴中ソーランや、応援団の演舞等、見応えある競技・演技となりました。また、55歳組の皆様とともにPTA種目を行い、2年ぶりにPTA評議員の皆様をお招きして実施しました。物心両面からのご支援を賜り、誠にありがとうございました。

薬物乱用防止教室

9月14日(水)に2年生を対象に、講師をお迎えして、授業を行いました。



出水保健所衛生係の川口正悟さんを講師にお迎えして、法律で禁止されている危険な薬物の使用や医薬品を本来の目的以外の方法での使用等の薬物乱用について具体的な事例を基にその防止について学びました。

生徒会立会演説会

主権者教育の一環として、10月6日(木)に、生徒会役員立会演説会がありました。



主権者教育の一環として政治の仕組みを実践的に理解する場でもあります。母校を更によりよくしたいという熱い思いが伝わりました。
選挙管理委員会の運営の基、市選挙管理委員会から借用した実際の投票箱、記入台を用いて行いました。

映画監督の山本晋也さんのこんな言葉がある。それは、「品行の悪いのは直るけど、品性の悪いのは直らねえ」というものだ。彼の小学生の頃の話。『映画館に入りたかった。でも、大人と一緒にないと入れない。そこで、友だち四人とトイレの窓から入ろうということになった。みんな次々に入り、最後に山本監督がよじ登る。わくわくしてトイレの戸を開けると、そこには支配人が立っていた。その支配人から、こんな交渉事を持ちかけられたそう。『お前一人でやったんじゃないだろう。仲間を教えなさい。』と。もし、仲間を教えたら、お前だけは助けてやるというのだ。でも、「友達はいません。ぼく一人です」と言った。支配人は警察に電話をかけ、父親が引き取りに来た。

帰り道、父親は、強烈に叱ったそう。そして、この一言。「ろくでもねえことしやがって。でも、お前さん、友だちを売らなかったってエのは、偉エ。品行の悪いのは直るけど、品性の悪いのは直らねえってからな。覚えとけ!」

それから「品行と品性」という言葉の意味を知った。人生、長い間には、うまくいって楽しくて仕方ないときも、うまくいわずに沈むときもある。また、病気をしたり、予期せぬトラブルに見舞われたりすることもある。でも、どんなときでも、「品性」を保っていれば、またいつの日にか、陽の昇る日もあると信じている。教育を学んだ者として助言するならば、この「品性」は一朝一夕で身に付くものではない。少なくとも中学生ぐらいまでにそれは決まってくるという説もある。「品性とは余裕のことである。」という言葉がある。つまり、今のこの時期に多くのことを経験し、大人になって余裕をもてるように自分を育ててほしい。